

「わくわく理科」年間指導計画（沖縄案）

このファイルは、啓林館2020年度以降用「わくわく理科」年間指導計画の、沖縄案です。
この案では、地域の特性を活かした学習ができるよう、単元配列を標準案から一部変更しています。
実際の計画作成・運用にあたっては、学校の実態等に応じて、さらに調整してご利用いただければと存じます。

◆ファイルについて

- ・エクセルでは、タブ（3年～6年）をクリックすると、各学年の年間指導計画案が表示されます。
- ・表の1行が、時数の1時間に対応しています。

◆年間指導計画案について

[1] 標準時数

- ・小学校理科の標準時数（年間授業時数）は、次のとおりとなっています。
3年＝90時間 / 4・5・6年＝105時間
- ・「わくわく理科」では、上記の標準時数に対して「予備の時数」を確保した配當時数を設定し、余裕をもって学習を進めていただけるようにしています。

[2] 週あたりの時数

- ・週あたりの授業時数は、年間を通して、次のとおりとしています。
3年＝週2.5時間 / 4・5・6年＝週3時間

[3] 学期ごとの週数

- ・学期ごとの週数は、それぞれ、次のとおりとしています。
(年間合計が[1]のとおりになるように、長期休みの直前の週で、時数を若干調整しています。)

<3学期制案>

1学期＝12週 / 2学期＝13週 / 3学期＝10週

<2学期制案>

前期＝17週 / 後期＝18週

(10月第2週を「秋休み」とし、学期の区切りとしています。)

※令和元年度3月の臨時休業期間中の学習についての対応を例示しています。

補充のための授業等を計画・実施される際にご参照ください。

2学期制	3学期制	月	週	時数	単元名	配当 時数	(標準 時数)
前期 週2.5×17 調整+1.5 (計44)	1学期 週2.5×12 調整+2 (計32)	4月 (7)	2週	1	しぜんを見つめる	1	(1)
				1	1. 生き物をさがそう	4	(4)
			3週	2			
				3			
		4週	1	植物を調べよう(1) 2. たねをまこう	4	(4)	
			2				
		5月 (8)	2週	3	3. チョウを育てよう	5	(5)
				4			
			3週	2			
				3			
			4週	4			
				5			
		6月 (10)	1週	2	植物を調べよう(2) ○植物の育ちとつくり	3	(3)
				3			
			2週	1	4. 風とゴムの力のはたらき	8	(9)
				2			
				3			
				4			
			3週	4			
				5			
4週	6						
	7						
7月 (7)	1週	予	植物を調べよう(3) ○花のかんさつ	1	(1)		
		1					
2週	1	植物を調べよう(4) ○植物の一生	3	(4)			
	2						
	3						
3週	予	自由研究	2	(2)			
	1						
*9月を 1~4週 (10時間) とする。	2学期 週2.5×13 調整+1.5 (計34)	9月 (7)	2週	2	5. こん虫のかんさつ	8	(9)
				1			
			3週	2			
				3			
			4週	4			
				5			
		10月 (10)	1週	7	6. かげと太陽	8	(9)
				8			
			2週	1			
				2			
			3週	3			
				4			
4週	5						
	6						
*10月を 1, 3, 4週 (7時間) とする。	後期 週2.5×18 調整+1 (計46)	11月 (10)	1週	8	7. 光のせいしつ	7	(8)
				予			
			2週	2			
				3			
			3週	4			
				5			
			4週	6			
				7			
		12月 (7)	1週	1	8. 電気で明かりをつけよう	6	(7)
				2			

備考 (沖縄案の補足説明)

○「たねをまこう」のたねまきから植え替えまで、「チョウを育てよう」の産卵から羽化までの過程が観察できるように、並行学習を考慮します。

○標準案で9~10月に配当されている「植物の一生」を7月に配当するため、その分の時数を「チョウを育てよう」から減らし、「こん虫のかんさつ」へ配当します。

○3年生で栽培するホウセンカとマリーゴールドの実は7月にできますので、標準案で9~10月に配当されている「植物の一生」を、7月に配当します。

○昆虫は10月ごろまで見られますので、「チョウを育てよう」から減らした分の時数を「こん虫のかんさつ」へ配当し、ここで昆虫の学習をします。

			3				
		2週	4				
			5				
		3週	6				
			予				
3学期 週2.5×10 調整-1 (計24)	1月 (8)	2週	1	9. じしゃくのふしぎ	7	(8)	
			2				
			3				
		3週	4				
			5				
		4週	6				
			予				
	2月 (10)	1週	1	これまでの学習をつなげよう	1	(1)	
			1	10. 音のせいしつ	5	(6)	
		2週	2				
			3				
			4				
			予				
		3週	5				
			予				
			予				
		4週	1	11. ものと重さ	6	(7)	
			2				
			3				
			3月 (6)				1週
5							
2週	6						
	予						
3週	1	○おもちゃランド	2	(2)			
	2						

*月の()は、その月の授業時数。

3年 学年計

80 (90)

*時数の「予」は、「予備の時数」。

※令和2年度以降の3年生に、令和元年度3月の臨時休業への対応が必要となる内容はあります。

2学期制	3学期制	月	週	時数	単元名	配当 時数	(標準 時数)			
前期 週3×17 調整+1 (計52)	1学期 週3×12 調整+1 (計37)	4月 (9)	2週	1	自然にせまる	1	(1)			
				1	季節と生き物(1)	8	(9)			
			2	1. 春の生き物						
			3週	3						
				4						
				5						
			4週	6						
				7						
		8								
		5月 (9)	2週	予	2. 天気と1日の気温	5	(6)			
				1						
			2							
			3週	3						
				4						
				5						
			4週	予				自然の中の水のゆくえ(1) ○地面を流れる水のゆくえ	5	(6)
				1						
		2								
		6月 (12)	1週	3						
				4						
				5						
		2週	予	3. 電気のはたらき	7	(8)				
			1							
			2							
3週	3									
	4									
	5									
4週	6									
	7									
	予									
	予									
7月 (7)	1週	1	季節と生き物(2)	4	(4)					
		2	○夏の生き物							
		3								
	2週	4	空を見上げると(1) ○夏の夜空	2	(2)					
		1								
	3週	2	自由研究	2	(2)					
		1								
		予								
*9月を 1~4週 (12時間) とする。	2学期 週3×13 調整-1 (計38)	9月 (9)	2週	2	空を見上げると(2) 4. 月や星の動き	6	(7)			
				1						
			2							
			3週	3						
				4						
				5						
		4週	6							
			予							
			予							
		*10月を 1, 3, 4週 (9時間) とする。	10月 (12)	1週	2	5. とじこめた空気や水	6	(7)		
					3					
					4					
2週	5									
	6									
	予									
後期 週3×18 調整-1 (計53)	11月	3週	1	6. ヒトの体のつくりと運動	6	(7)				
			2							
			3							
		4週	4							
			5							
			6							
1週	予									

備考 (沖縄案の補足説明)

○ヒョウタン、ヘチマ、ツルレイシ(ゴーヤ)は、台風が来る前に成長し実が観察できるように、「春の生き物」の始めにたねまきをします。(教科書では単元の終わりのほうに掲載)なお、ヘチマなどは園芸用ネットで栽培し、台風の際はネットを支柱から外しておく、被害を軽減できます。

○「天気と1日の気温」「地面を流れる水のゆくえ」は、天気(梅雨)の状況に応じて、前後の単元と並行して扱うようにします。

並行学習

3学期 週3×10 調整±0 (計30)	(12)	1週	1	季節と生き物(3)	} 並行学習	4	(4)		
			2	○秋の生き物					
		2週	3						
			4						
		3週	1	みんなで使う理科室				2	(3)
			2						
		4週	予						
			1	温度とものの変化(1)				8	(9)
			2	7. ものの温度と体積					
			3						
		4							
		12月 (5)	1週	5					2
	6								
	2週		7						
			8						
	1月 (9)	2週	1	空を見上げると(3)	} 並行学習	3	(3)		
			2	○冬の夜空					
		3週	1	季節と生き物(4)					
			2	○冬の生き物					
			3						
4週		1	温度とものの変化(2)	7				(8)	
		2	8. もののあたたまり方						
		3							
		4							
2月 (12)		1週	5					7	(8)
			6						
			7						
	2週	予							
		1	温度とものの変化(3)						
	3週	2	9. 水のすがた						
		3							
		4							
3月 (9)	1週	5		5	(6)				
		6							
		7							
	2週	1	自然の中の水のゆくえ(2)						
		2	10. 水のゆくえ						
	3週	3							
		4							
3週	1	これまでの学習をつなげよう	1	(1)					
	1	季節と生き物(5)							
		2	○生き物の1年間	2	(2)				

○ヒョウタンやヘチマなどの実は、遅ければ11月後半まで収穫できます。また、紅葉は12月ごろですので、「秋の生き物」は、「みんなで使う理科室」「ものの温度と体積」と並行して扱うようにします。

○冬の生き物を観察する一方、1月末からサクラが咲き始めるのに合わせて冬芽の観察ができるように、「冬の生き物」は、「ものあたたまり方」と並行して扱うようにします。

*月の()は、その月の授業時数。

4年 学年計

93 (105)

*時数の「予」は、「予備の時数」。

※令和2年度以降の4年生に、令和元年度3月の臨時休業への対応が必要となる内容はありません。

2学期制	3学期制	月	週	時数	単元名	配当 時数	(標準 時数)					
前期 週3×17 調整+1 (計52)	1学期 週3×12 調整+1 (計37)	4月 (9)	2週	1	※4年「〇生き物の1年間」	1	(1)					
				1	自然を読みとく	1	(1)					
			3週	1	受けつがれる生命(2)	13	(13)					
				2	1. 植物の発芽と成長							
				3								
			4週	4								
				5								
		6										
		7										
		5月 (9)	2週	8	並行学習							
				9								
				10								
			3週	11								
				12								
				13								
		6月 (12)	4週	1	※4年「10. 水のゆくえ」	2	(2)					
				2								
				1	天気の変化(2)	7	(7)					
			7月 (7)	1週	2	5. 雲と天気の変化						
					3							
					4							
				2週	5							
		6										
		3週		1	受けつがれる生命(3)			7	(8)			
				2	2. メダカたんじょう							
		* 9月を 1~4週 (12時間) とする。	2学期 週3×13 調整±0 (計39)	9月 (9)	2週	2	自由研究	2	(2)			
						1						
					3週	2				受けつがれる生命(5)	8	(10)
3	4. 花から実へ											
4												
4週	5											
	6											
* 10月を 1, 3, 4週 (9時間) とする。	2学期 週3×13 調整±0 (計39)				10月 (12)	1週				予	3. ヒトたんじょう	6
				予								
				2週		1	受けつがれる生命(4)					
		2	3. ヒトたんじょう									
		3週	3									
			4									
		後期 週3×18 調整-1 (計53)	2学期 週3×13 調整±0 (計39)	10月 (12)	3週	5	これまでの学習をつなげよう	1	(1)			
						6						
					4週	1				6. 流れる水のはたらき	11	(12)
						2						
11月 (12)	1週	3										
		4										

備考 (沖縄案の補足説明) ※臨時休校対応例

※令和2年度の指導にあたっては、
令和元年度3月の臨時休業期間中の学習を
ここで補充することが考えられます。

○アブラナの花は4月には咲き終わっているので、
「花のつくり」の学習は、「花から実へ」の中で、
アサガオなどの花で扱います。

○ヘチマは、たねまきが遅くなると、結実が台風の
時期と重なったり、雌花や実のつき方が悪くなったり
することがあるので、なるべく早めにたねまきを
します。(教科書では「花のつくり」の終わりに掲載)
なお、ヘチマは園芸用ネットで栽培し、台風のときは
ネットを支柱から外しておくと、被害を軽減できます。

※令和2年度の指導にあたっては、
令和元年度3月の臨時休業期間中の学習を
ここで補充することが考えられます。

○「雲と天気の変化」は、天気(梅雨)の状況に応じて、
前後の単元と並行して扱うようにします。

○夏休み前に、自由研究のテーマとして、花のつくりや
花粉の観察を取り上げることもできます。

○「雲と天気の変化」を1学期に移動したため、
「ヒトたんじょう」を10月に行います。

3学期 週3×10 調整-1 (計29)	12月 (6)	2週	5	みんなで使う理科室 7. ふりこのきまり	1	(1)				
			6							
			7							
		3週	8							
			9							
			10							
		4週	11							
			予							
			1							
		12月 (6)	1週				2	7. ふりこのきまり	6	(7)
							3			
	4									
	2週		5							
			6							
			予							
	1月 (9)	2週	1	8. もののとけ方 ※令和3年度の指導にあたっては、 令和元年度3月に配当の3年「ものの体積と重さ」の 履修状況にご注意ください。	15	(16)				
			2							
			3							
			3週				4			
							5			
							6			
		4週	7							
			8							
			9							
		2月 (12)	1週				10	9. 電流と電磁石	12	(13)
							11			
							12			
			2週				13			
							14			
15										
3週	予									
	1									
	2									
3月 (8)	4週	3	9. 電流と電磁石	12	(13)					
		4								
		5								
	1週	6								
		7								
		8								
	2週	9								
		10								
		11								
3週	12									
	予									

*月の()は、その月の授業時数。

5年 学年計

96 (105)

*時数の「予」は、「予備の時数」。

2学期制	3学期制	月	週	時数	単元名	配当 時数	(標準 時数)			
前期 週3×17 調整+1 (計52)	1学期 週3×12 調整+1 (計37)	4月 (9)	2週	1	自然とともに生きる、わたしたちの地球と環境 1. ものが燃えるしくみ	1 8	(1) (9)			
				2						
			3週	3						
				4						
				5						
				6						
			4週	7						
				8						
		5月 (9)		2週	予	2. ヒトや動物の体	9	(10)		
					1					
			3週	2						
				3						
		4								
		4週	5							
			6							
			7							
			8							
		6月 (12)	1週	9	3. 植物のつくりとはたらき	7	(8)			
				予						
			2週	1						
				2						
				3						
				4						
			3週	5						
6										
7										
予										
4週	1	わたしたちの地球(1) 4. 生物どうしのつながり	6	(7)						
	2									
	3									
	4									
7月 (7)	1週	5	5. 水よう液の性質	13	(14)					
		6								
	2週	予								
		1								
*9月を 1~4週 (12時間) とする。	2学期 週3×13 調整±0 (計39)	9月 (9)	2週	2	わたしたちの地球(1) 4. 生物どうしのつながり	6	(7)			
				1						
			3週	2						
				1				5. 水よう液の性質	13	(14)
				2						
				3						
		4								
		4週	5							
			6							
			10月 (12)	1週	7	6. 月と太陽	5	(6)		
					8					
					9					
2週	10									
	11									
	12									
3週	13									
	予									
	1									
*10月を 1, 3, 4週 (9時間) とする。	2学期 週3×13 調整±0 (計39)	10月 (12)	1週	8	6. 月と太陽	5	(6)			
				9						
			2週	10						
				11						
後期 週3×18 調整-1 (計53)	2学期 週3×13 調整±0 (計39)	10月 (12)	3週	13	6. 月と太陽	5	(6)			
				予						
			4週	2						
				3						
11月 (12)	1週	5	予							
		予								

備考 (沖縄案の補足説明) ※臨時休校対応例

○「植物のつくりとはたらき」で、葉のでんぷんを調べる栽培植物としては、ホウセンカのほか、インゲンマメやアサガオが適切です。そのため、4月にこれらの植物のたねまきをします。

(沖縄では、ジャガイモは10~12月に植えて、2~3月に収穫しますので、6~7月の学習時期には適しません。)

○5~6月の梅雨の時期には、室内で学習できる「ヒトや動物の体」を学習します。

○「植物のつくりとはたらき」での蒸散調べ、植物と空気の実験、葉のでんぷん調べは、天気(梅雨や台風)を考慮して、晴天の日に実施できるようにします。

3学期 週3×10 調整-1 (計29)	12月 (6)	2週	1	7. 大地のつくりと変化	15	(16)			
			2						
		3週	3						
			4						
			5						
		4週	6						
			7						
		1週	8						
			9						
		2週	10						
	11								
	1月 (9)	2週	12	8. てこのはたらき	9	(9)			
			13						
			14						
		3週	15						
予									
1									
2月 (12)		1週	2				※5年「電磁石の強さが変わる条件」	3	(3)
			3						
			9. 発電と電気の利用				13		
	2週	1							
3週	2								
4週	3								
3月 (8)	1週	4	わたしたちの地球(2) 10. 自然とともに生きる	4	(4)				
		5							
		6							
	2週	7							
		8							
	3週	9							
		10							

※令和2年度の指導にあたっては、令和元年度3月の臨時休業期間中の学習をここで補充することが考えられます。

*月の()は、その月の授業時数。

6年 学年計

98 (105)

*時数の「予」は、「予備の時数」。